

4月 8-14 日

[詩編 26-28 編](#)

[34 番の歌](#)と祈り | 開会の言葉 (1 分) 大谷 正 | 米山 英行

神の言葉の宝



1. ダビデは正しく歩む決意をどのように強めたか (10 分) 田中 克彦

ダビデは、自分の考えと心を清めてほしいとエホバに祈った。(詩 26:1, 2。塔 04 12/1 14 ページ 8-9 節)

ダビデは悪い交友を避けた。(詩 26:4, 5。塔 04 12/1 15 ページ 12-13 節)

ダビデはエホバへの崇拝を大切にしていた。(詩 26:8。塔 04 12/1 16 ページ 17-18 節)

ダビデは間違いを犯したこともあったが、「清い心で」歩んだ。(王 9:4) ダビデの高潔さと清さは、エホバを愛しエホバに心を込めて一生懸命仕えたことに表れている。

2. 宝石を探し出す (10 分) 長谷川 瑛一

詩 27:10 たとえ父と母に捨てられても、エホバが迎えてくださる。

親しい人に見捨てられたと感じるとき、この聖句はどのように力になるか。

(塔 06 7/15 28 ページ 15 節) 詩編作者ダビデは、「(上記)」と歌いました。(詩編 27:10) エホバの愛はいかなる人間の親の愛より大きい、ということを知っているのは、なんと心強いことでしょう。親に無視され、虐待され、あるいは捨てられるのは悲痛なことです、そのような境遇にある人をエホバは深く気遣っておられます。(ローマ 8:38, 39) 神はご自分の愛する人を引き寄せられる、ということを忘れないでください。(ヨハネ 3:16; 6:44) 人からどう扱われてきたとしても、あなたは天の父に愛されているのです。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。(27:1)「エホバはわたしの光、わたしの救い」とある。光が通り道の危険を明らかにしても、自動的に危険に会わないで済む訳ではないように、世の危険に注意を促してくださっている組織からの助言や聖書の原則を適用して初めて、救いに至ることができる。これからも聖書を学び、組織を通したエホバの助言に聞き従っていきたい。

3. 聖書朗読 有川 聖七

(4分) [詩 27:1-14](#) ([教励 第2課](#))

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 大坂 典子 教3 宮崎 倫子

(2分) 家から家で。宣教ツールボックスのパンフレットを使う。([教励 第3課](#))

5. 再び話し合う 柴田 さつき 愛込 9-3 有田 優子

(4分) 家から家で。前回渡したパンフレットの裏の質問について話し合う。jw.org からコンテンツを1つ紹介する。([愛込 レッスン9 ポイント3](#))

6. 話 阿部 直生 教13

(5分) [愛込 付録A ポイント3](#) 主題: 環境問題はなくなる。([教励 第13課](#))

クリスチャンとして生活する

[128 番の歌](#)

7. 道徳的な清さを保っている若い人たち (15分) 討議。 滝 秀貞



若いクリスチャンは、道徳的に清い人であるために闘わなければなりません。不完全さから来る弱さがあるだけでなく、若い時には、セックスをしたいという欲求が強くなります。([ロマ 7:21](#)。[コリネ 7:36](#)) 異性や同性とセックスさせようとする周りからの圧力にも抵抗しなければなりません。([エフェ 2:2](#)) 私たちは、道徳的な清さを守ろうと頑張っている若い人々を誇らしく思います。

「10代の頃の私 セックスさせようとする圧がすごかったです」の[動画を再生する](#)。次の質問をする。()

1. コリーBとカムリンSは友達からどんな圧力をかけられましたか。

S クラスメートは毎日セックスのことを話していた。皆彼氏や彼女がいて週末何をしたとか、今度どこに行くとかばかり話していた。B エホバの証人で結婚前のセックスはしないことを知っていたのに圧力を掛けてきた。近くに来て腕をつかもうとしたり、身体をさわろうとした。女の子から触っていいと言われたが、断ったら馬鹿にしてくる。S ゲーム感覚でこちらを落とせるか試して、相手にしないとますます面白がってちょっかいを出してきた。B 二人係で背中を押したり、一人ずつ両腕をつかんで、無理やり触らせようとしたが、直ぐにその場を離れた。

2. 圧力に負けないためにどんなことが役立ちましたか。

S エホバの証人は皆と違い目立った存在になる。恥ずかしがり屋だったので、注目されることがいやだったので、皆と同じようにできたらと思うこともあった。でもそんなことをしたらエホバを悲しませてしまうので、それは絶対したくないと思った。B 声を出さずに「エホバ助けてください。」と祈り、直ぐにヨセフがポテパルの妻から逃げた時のことを思い出した。エホバを喜ばせたいと思っていたのでそうできた。ヨセフに倣って直ぐに教室から出て行った。S 特に役に立ったのは個人研究。エホバを身近に感じた。身近になればなるほどエホバを悲しませたくないという気持ちが強まった。エホバに頼り、エホバとの友情を強めることによって、皆と同じように行動したいと言う気持ちに負けないようにすることができた。B 簡単ではなかったが、エホバが喜んでくれると思った。実はこういうことがある前に祖母がものみの塔の記事を教えてくれていて、それが役に立った。誘惑にどう対処できるか？書いてあったが、祖母とこういう話しをするのは結構気まずかった。でもそのおかげで誘惑に遭っても負けないでエホバとの友情を守れた。

3. 圧力をかけられたとき、どんな聖書の言葉を思い出したいですか。

S 両親はいつも先のことを考えて行動するよう教えてくれた。（格言 22:3 聡明な人は危険に気付いて身を隠すが、経験のない人たちは進んでいって当然の報いを受ける。）今行うことが自分の将来とかエホバや友だちや家族との関係にどう影響するか、ということ。学校で大変な時には、そのことを良く考えるようにした。大切なのはエホバに頼ること。（格言 3:5 心を尽くしてエホバに頼れ。自分の考えに頼ってはならない。）そうすれば、エホバが助けてくれるので、上手く行く。B 特に役立ったのは「若い人が尋ねる」第二巻5章のなぜ純潔を守るべきなのだろう？というところ。自分にとって本当に助けになった。これを読んで自分と同世代の子たちが、自分と全く同じような問題と闘っていることが分かった。自分は独りではないと思って安心した。S エホバと組織が若い自分たちを愛してくれていることに凄く感謝している。独りではないと感じ、難しい問題を乗り越えられるよう助けてくれている。例えば、「若い人が尋ねる」第二巻14章の学校で身を守るために何ができるだろう？というところを読んで、とても力付けられた。学校でどんなことがあってもエホバに喜ばれることをしようと思った。B エホバは役立つ聖句を思い出させてくれた。例えば（コリー 6:18 性的不道徳から逃げ去りなさい！ほかの罪はどれも人が自分の体の外で犯すものですが、性的に不道徳な行為をする人は自分の体に対して罪を犯しているのです。）とあり、この言葉のとおりになできて嬉しかった。でも一番嬉しいのはエホバに喜んでもらえること。最高の気分。

8. 会衆の聖書研究 星 延宏 朗読：長谷川 貴史

(30分) [徹8章5-12節](#)

閉会の言葉 (3分) | [38番の歌](#)と祈り 浮田 蒼